

## 事業報告書（令和4年度）

事業名 カラフルな個性って面白い!世界を共有し、未来へ  
(発達に特性を持つ子どもたち、大人たちの持っている力をより社会で発揮して行くための  
土台作りとしての情報共有や相談の場、自己理解や他者理解の場の提供)

団体名 カラフルキッズの会にじのね 担当者名 田中 朋子  
※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）
1. にじのね座談会（毎月最終火曜日開催） 2. にじのね夜カフェ（毎月最終金曜日夜開催） 3. にじのね楽習会（6月、10月、2月） 4. たのしいおんがくオンライン（2月） 5. SNS等での交流・情報発信
*詳細は別紙
2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか オンラインのみで開催している夜カフェは、継続して参加してくださる方がほとんどで、一つの居場所として機能しはじめている様子が伺えた。 また、今年度より会場を放課後等デイサービスへ変更したが、実際の支援の現場の雰囲気や、取り組みを見ることで、事業所選択の幅が広がったという声も聞かれていた。
②どのように学び合いを取り入れたか 昨年に引き続き、市内で活動している親の会の交流会にも参加し、情報交換などの横のつながりを構築するとともに、有志での企画で高校の先生のお話を聞く学習会も開催することができた。
③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での座談会や楽習会・音楽会が企画しにくい状況であったが、あらかじめできる限りオンラインも取り入れた企画をすること、参加人数を制限することで途切れることなく企画したイベントを開催することができた。 また、専門家の話だけではなく、同じ子育て世代の家庭での取り組みの話をシェアすることで、すぐに取り組みやすいことや、考え方を少し変えてみるのがしやすいように工夫をし、実際に子どもに対する見方が変わったという声も聞かれていた。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

今年度より新しい拠点（Rapo Lab\*）での開催となったが、引き続き参加してくださる方も多く、にじのね自体が安心して過ごせる居場所となっている様子が伺えた。また、多様な学びを考える会での出会いから、お子さんが新しい社会資源を利用することにつながったという事例もあり、にじのねが媒体となって繋がりが広がっている様子が伺えた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの開催がメインとなったが、対面での楽習会も開催することができ、対面での開催が持つ力も改めて感じる事ができたため、来年度は積極的に対面でのイベント企画をしていきたい。  
またHPを整備したり、他団体や関連の人たちとのつながりを作っていくことで、より新しくよりカラフルキッズの子育てが楽しく楽になる情報や企画を継続して提供できるようにしていきたい。

1. にじのね座談会 月1回最終月曜日に開催 毎回3名前後の参加

会場：放課後等デイサービスRapo Lab\*

開催日：7/26.8/30.9/27. 11/29.12/20.1/31

発達障害と診断されている子もされていない子も含む、多様な個性を持つ子どもたちを育てる母たちがざっくばらんに情報交換や悩みや不安の相談がしやすいような環境を目指して取り組んでいる。

今年度は開催場所を放課後等デイサービスRapo Lab\*に変更し、放課後等デイサービスはどのような場所で、どのような支援をしているか？という実態も参加者の方に見ていただくことができた。

参加者同士の交流も進み、お互いにここで会えるのを楽しみにされているという参加者も見られ、安心して話ができる環境の提供ができていると感じている。

また、新年には「価値観ババ抜き」も開催し、新しい年のスタートに大切にしたい価値観を参加者それぞれに自己確認することが出来た。



2. 大人のカラフルさんの会 こもちカラーズ

今年度は休止した。

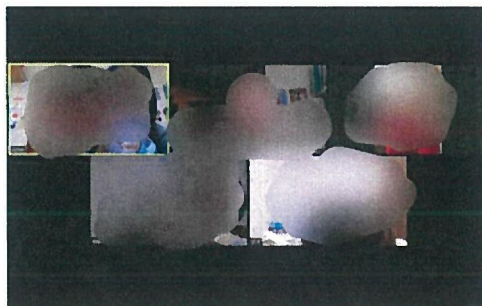
3. にじのね夜カフェ 毎月最終金曜日夜にオンライン（Zoom）で開催 毎回3名前後の参加

開催日：6/24.7/29.8/26.9/30.10/28.11/25.12/23.1/27.2/24

平日は仕事等で日中の座談会に参加しにくい方のために夜の時間帯にオンラインでの座談会を開催した。

週末の夜の開催で、移動時間もなく家から参加できるため、家事をしながらや、リラックスした服や格好でも参加していただけた。

また、継続して毎回参加してくださる方もおり、毎月近況を話したり、その時必要な情報交換をしたりと継続しての参加ならではの安心感のある場にもなっている。



4.にじのね楽習会 6月、10月、2月に開催 対面+オンライン

参加者 約20名 協力いただいた団体 3組

発達障害に関することや子どもの育ちなどに関わることを「楽しみながら学ぶ」を目的とした会。

今年度は対面とオンラインの同時開催をし、

6/28 「教育・支援のいろんなミカタ」

…アトリエぬかごっこスタッフさん3名・うえまつフリースクール代表・小山さん（健康の森学園保護者）

10/25 「子育てに正解はない～偏食との付き合い方編～」…横井さん（カラフルキッズの保護者）

2/28 「子育てに正解はない～スピリチュアルな子育て編～」…吉岡さん夫妻（カラフルキッズの保護者）

と、それぞれテーマを設けて定例の座談会の中で開催した。

「教育・支援のいろんなミカタ」では、フリースクールや寄宿舎型の支援学校、自由な発想を大切にする放課後等デイサービスなどの情報を実際にお子さんが利用している保護者や、事業所のスタッフからそれぞれの場所での子どもたちへの想いや、過ごしている様子を伺い、その後実際に利用や見学につながった参加者もいたことから、地域資源とのつながりを作ることが出来た。



「子育てに正解はない」はシリーズ化を検討しており、それぞれの家庭での子育てを紹介していただく会となっている。

偏食との付き合い方編も、スピリチュアルな子育て編も、どちらもそれぞれの家庭で大切にしていることを参加者にシェアしていただく形でお話をさせていただいたが、参加者からは「そういう考え方があったのか!と思った」「じっくりくることがあった」などの感想をいただき、参加者それぞれに持ち帰っていただけるものがあった会であったと思う。



## 5. たのしいおんがく 子どものためのコンサート オンライン

2023年2月23日開催 参加者（当日視聴者） 約20組

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため初めてYouTube配信での開催を行った。

内容は岡山市で活動され、ESDプロジェクト参加団体である金星音読団さんに朗読と音楽のプログラムを作っていただき、あらかじめ撮影・編集をした動画と、生配信とを組み合わせでの開催であった。また、今回はこちらもESDプロジェクト参加団体である劇団公民館京山の方にもご協力いただき、昨年度よりもより本格的な機材を使用でのオンライン配信となった。

現在再生回数も350回を超え、岡山市内のみならず県外の方にも見ていただいている。

「家で楽しめたのが良かった」というお声もいただいたが、来年度は対面で企画したいと考えている。

アーカイブあり

<https://www.youtube.com/live/Xt3juXcXlJc?feature=share>



## 6. SNSでの情報提供や情報発信 随時

昨年度に引き続き、岡山市の放課後等デイサービス・児童発達支援事業所の情報一覧を整備し、新規事業所を中心に情報収集を行って、できるだけ新しい、正しい情報を伝えられるようにした。

今年度は新規開所の事業所からご連絡をいただくことも多く、よりスムーズに新しい情報を伝えることができた。

また、各会の活動内容に関しても毎回ブログでまとめをUPして、会の雰囲気や内容がより外部に伝わりやすいようにした。

Facebook、LINE等を利用して、他団体や行政等の企画のイベントの情報を共有し、発信した。